

中学校理科におけるCBTの可能性

—より一層の科学的な探究の充実に向けて—

講師：田中 保樹 北里大学理学部准教授
(教職課程センター)

—講座内容—

CBTの導入によって変わることと
変わらないことは何か。
中学校理科の在り方、指導と評価の一体化を通して、
中学校理科の学び方に、
CBTの導入がどのような効果をもたらすのでしょうか。

評価としてのCBTだけでなく、
中学校理科の学び方に着目して、
現状とこれからの可能性について、
実際にCBTの問題例も織り交ぜていただきながら、
中学校理科の学習指導や学習評価、
全国学力・学習状況調査やCBTなどに関して詳しい
田中 保樹 先生に解説していただきます。

ご視聴方法

Peatix下記URLもしくは
下記二次元コードよりお申し込みいただけます
<https://peatix.com/event/4052692>
申し込みフォーム(Googleフォーム)を
送信いただいた後、動画をご購入いただく
webサイトのURLをご案内いたします。



講師紹介：田中 保樹 先生

1985年より横浜市内の中学校、横浜国立大学附属中学校に勤務。
2009年より横浜市教育委員会にて指導主事。
2011年より文部科学省国立教育政策研究所にて学力調査官、教育課程調査官。
2013年より文部科学省にて教科調査官(併任)。
その後は再び横浜市教育委員会指導主事として活躍後、
2018年4月より現職。
「全国学力・学習状況調査のCBT化に向けたCBTの特性を生かした
調査問題の在り方に係る調査研究」における
検討委員会(中学校理科委員会)の主査(~2024.03)などを歴任。

配信期間

2024年10月1日
~ 2025年3月31日

本配信は2024年9月18日に開催された
ライブ配信を録画・編集した
アーカイブの配信です。

料金

¥700

※視聴可能期限はご購入いただいてから
7日間です。

期限切れにご注意ください。

期限の延長はお受けいたしかねます。

お問い合わせ

dnt_online@dainippon-tosho.co.jp
(D!チャンネル オンライン講座事務局)

ご購入はこちらから



Peatixお申し込みサイトへ
つながります。

※通信料はご利用者の
ご負担となります。